



テクニカル・メッセージ

DPR再生時間や頻度が増加した際は、燃料添加弁噴孔部周辺の清掃をお願いします

燃料添加弁噴孔部や燃料添加弁ホルダに煤が堆積してくると、燃料添加弁による燃料噴射が正常に行えなくなる場合があります。結果として、DPR再生が正常に行われず、再生時間や頻度が増加する可能性があります。1年ごとの定期点検の際に、DPR再生状態に異常があった場合は、燃料添加弁噴孔部やホルダ周辺に煤が付着・堆積していないかご確認をお願い致します。

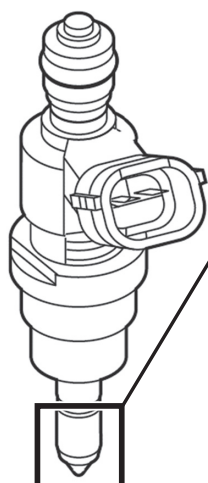
■ 対象車両

燃料添加弁搭載車

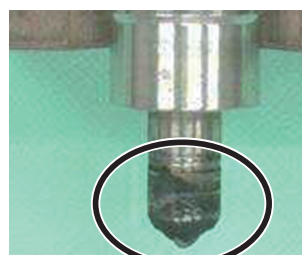
■ 燃料添加弁噴孔部周辺に煤が溜まった状態について

- ・ 燃料添加弁噴孔部に煤が付着した場合、燃料噴射が正常にできなくなります。
- ・ 周辺に煤が堆積すると、噴射した燃料が煤に付着して、DPRまで届かない場合があります。

< 燃料添加弁噴孔部 >

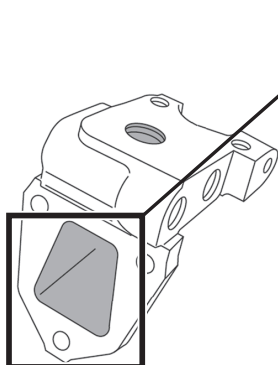


噴孔部に煤が付着



正常な状態
(参考)

< 燃料添加弁ホルダ >



内部に煤が堆積



正常な状態
(参考)

■ 燃料添加弁の清掃について

定期点検要領書に記載されている点検方法にてDPRの再生点検を行い、燃料添加弁の状態を点検してください。

再生状態に異常があった場合は清掃してください。

また、再生点検を行う際は日野純正故障診断機が必要となりますので、日野販売会社にご相談をお願い致します。

＜点検整備時期＞

点検整備時期 (※)	日常点検 (運行前)	新車時		事業用等			自家用等	
		1,000Km	5,000Km	1月ごと	3月ごと	12月ごと	6月ごと	12月ごと
	-	-	-	-	-	○	-	○

※車型によって点検整備時期が異なる場合がありますので、詳細はメンテナンスノートをご参照ください

＜燃料添加弁（DPR再生状態）の定期点検方法＞

1. エンジン十分に暖機し、日野純正故障診断機を接続する。

2. 故障コードが無いことを確認する。

3. 故障診断機にて「手動強制再生」を実施する。

4. アイドル回転が上昇し、エキゾーストブレーキが作動した状態で、データモニターにて下記項目を点検する。

・ DPRフィルター上流温度センサーが500℃以上まで上昇し、安定していること

・ 燃料添加量>0の値を示している、または燃料添加弁詰まり判定フラグ=OFFとなっていること

4 の点検結果が不適格で、さらにDPRフィルター上流温度センサーの温度が300～500℃の範囲で安定している場合は、燃料添加弁が正常に噴射できていない可能性があるため、燃料添加弁を外して清掃してください。

＜燃料添加弁の清掃方法＞

1. カーボン洗浄剤を燃料添加弁インジェクターのノズル噴孔部に吹き付ける。

2. カーボンが解け落ちるまでしばらく放置した後、エアブローで除去する。

3. ホルダ内に堆積したカーボンも同様にカーボン洗浄剤を吹きかけた後、エアブローで除去する。

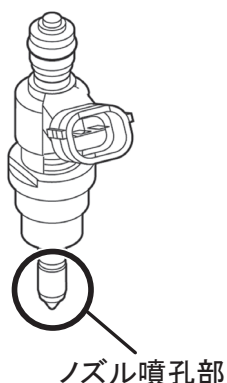
【清掃時の注意点】

・ カーボン洗浄剤が燃料添加弁の樹脂部、端子部、O-リング部に付着しないように注意してください。

付着した場合は速やかに拭き取ってください。

・ ノズル噴孔部は手で触れたり、ウエスで拭いたりしないでください。

＜燃料添加弁本体＞



＜燃料添加弁ホルダ＞

